

交通遺児等激励事業

直轄事業

実施目的

交通遺児等に対し、激励金等の贈呈等により経済的援助と健全な育成に寄与すること。

実施場所

対象者

交通遺児等（※1）

開始年度

平成13年

予算

0 千円

実施内容

○激励金の贈呈

毎年12月に1名につき30,000円を贈呈。

○入学・卒業祝い金の贈呈

年度末の3月に、小・中学校に入学、または中学校を卒業予定の子ども1名につき30,000円を贈呈。

○新潟県交通災害共済の加入助成

子どもと保護者に対し、交通事故に遭った際に見舞金を受け取れる交通災害共済の会費（一人500円）を助成する。

○ふれ愛のつどい

交通遺児等及び保護者を激励する事業として、研修旅行等の交流事業を企画・実施する。

※予算は約219万円で、市民や企業等からの寄付金をもとに実施

（※1）交通事故により保護者が死亡もしくは重度の後遺障がいを負った、新潟市内に居住する中学生以下の子供が対象。

URL

https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/bohan/koutuu_index/ijitoushien/index.html

高齢者に対する反射材普及・着用促進活動

直轄事業

実施目的

令和7年中、新潟市内の交通事故死者8人のうち5人が高齢者であり、歩行中に交通事故被害に遭う場合も多いことから、反射材の活用を普及促進させることにより高齢者の交通事故防止を図る。

実施場所

市内

対象者

高齢者

開始年度

平成25年

予算

0 千円

実施内容

関係機関・団体と連携し、高齢者に対する反射材の配布を行う。
※反射材及び広報チラシの費用は新潟市交通対策協議会予算から支出

URL

自転車安全利用啓発活動

直轄事業

実施目的

自転車利用者が多い年齢層（中学生・高校生・大学生）や、その保護者に対して、自転車の正しい交通ルールを周知啓発することにより、交通安全意識の高揚と家庭における交通安全教育を促進し、自転車事故の防止を図る。

実施場所

市内

対象者

中学生・高校生・大学生等

開始年度

予算

0 千円

実施内容

各季交通安全運動等の機会を捉えた、街頭における直接指導、チラシや啓発品の配布、市ホームページなどにより、自転車安全利用五則を周知するとともに、令和8年4月1日より導入された自転車違反者に対する交通反則通告制度、「新潟県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の施行により自転車損害賠償責任保険等への加入の義務化、道路交通法の改正により乗車用ヘルメット着用が努力義務化等に伴い、自転車の安全利用の周知を図る。

URL

https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/bohan/koutuu_index/jitensyaanzen.html

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

親子の自転車乗り方教室

高齢者

こども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

直轄事業

実施目的

子どもが自転車の乗り方を練習する段階から、保護者も自転車の交通ルールを学ぶことにより、交通安全意識の高揚及び今後の家庭における継続した交通安全教育を促進する。

実施場所	万代島多目的広場
開始年度	平成26年

対象者	小学生（※1）とその保護者
-----	---------------

予算	0 千円
----	------

実施内容

自転車に乗ることができない子どもは、自転車関連団体の指導員から乗り方を学び、保護者は警察官から自転車の交通ルール等について講話を通じて学ぶ。

※会場使用料、講師謝金等（約 6 万円）は新潟市交通対策協議会予算から支出

（※ 1）小学校低学年（1 ～ 3 年生）が対象。

URL	https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/bohan/koutuu_index/norikatakyoushitsu.html
-----	---

防犯活動・交通安全功労者表彰式

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発イベント

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

直轄事業

実施目的

長年に渡り交通安全を推進し、功労のあった団体・個人に感謝状を贈呈することにより、交通安全意識の高揚と、さらなる交通安全活動の促進を図る。（防犯分野と連携）

実施場所 新潟市役所

対象者 市民一般

開始年度 平成24年

予算 145 千円

実施内容

- 交通安全功労者表彰
- 講演

URL

https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/bohan/bouhan_index/20191023164213338.html

シートベルト及びチャイルドシートの着用推進

直轄事業

実施目的

令和7年の調査で県内の一般道路における後部座席のシートベルト着用率は64.1%、6歳未満のチャイルドシート使用率は82.4%と着用の徹底がなされていない、シートベルト及びチャイルドシートの重要性、正しい着用方法を重点的に広報し、交通事故発生時等の被害防止、軽減対策を図る。

実施場所

市内

対象者

市民一般

開始年度

平成19年

予算

0 千円

実施内容

幼児又はこれから出産を控えている保護者等を対象に、交通安全啓発活動や交通安全動画により、チャイルドシートの重要性等について啓発を行う。

URL

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発
運動調査
研究市民
参加自転車
等反射
材飲酒
運転
根絶

その他

幼児・小学生対象の交通安全教室

直轄事業

実施目的

交通事故の被害者となりやすい幼児・小学生に対し、「道路の歩き方」、「横断の方法」、「正しい自転車の乗り方」について指導し、実践させることにより交通事故防止を図る。

実施場所

市内各児童保育施設（※1）

対象者

幼児・小学生

開始年度

平成19年

予 算

0 千円

実施内容

各区単位で企画のうえ、交通安全担当者及び交通安全指導員が実施している。幼児に対しては「正しい歩き方」、「横断の仕方」を中心に、ゲームやクイズを交えた指導を行い、小学生に対しては、1年生は主に歩行指導、3年生は自転車の日常点検から一時停止・安全確認といった基本的な自転車の乗り方について指導を行う。

（※1）市内の各幼稚園・保育園・認定こども園、小学校で実施。

URL

高齢者

こども

中高生

チャイルドシートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

高齢者対象の交通安全教室

直轄事業

実施目的

高齢者による交通事故防止を図るため、実践的かつ効果的な交通安全教育の推進を図る。

実施場所 新潟市内

対象者 市内在住高齢者（※1）

開始年度 平成21年

予算 0 千円

実施内容

各区単位で企画のうえ、交通安全担当者及び交通安全指導員が実施している。春から夏にかけては自転車や歩行の指導、秋から冬にかけては反射材の活用など、時季と交通事故発生状況に応じた指導を行っている。

（※1）老人クラブ、自治会、町内会単位が対象。

URL

高齢者運転免許証返納サポート事業

直轄事業

実施目的

高齢社会の進展に伴う高齢ドライバーの増加を背景に、加齢に伴う身体機能の変化による運転への影響が問題視されていることから、運転に不安のある高齢者が運転免許証を返納しやすいよう支援事業を実施し、高齢者の交通事故防止を図る。

実施場所

市内

対象者

市内在住高齢者（65歳以上）

開始年度

平成21年

予算

0 千円

実施内容

支援内容として、運転経歴証明書の提示により

- 区バスの運賃半額
- 市内のハイヤー・タクシー運賃1割引（事業者による支援）

URL

https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/bohan/koutuu_index/menkyo_hennou/index.html

高齢者安全運転サポート事業

直轄事業

実施目的

高齢運転者の加害事故を防止するため、身体機能の低下による危険発生を避ける補償運転や衝突軽減ブレーキ等の運転支援機能を備えた安全運転サポート車の広報啓発を行う。

実施場所

市内

対象者

高齢者

開始年度

令和元年

予算

560 千円

実施内容

各種イベントや講習会等により、主に下記項目を実施

- ・ 衝突被害軽減ブレーキ等を搭載した安全運転サポート車の体験乗車
- ・ 運転に必要な俊敏性の測定
- ・ 参加者同士のディスカッション等を通じて交通安全力を高める「いきいき運転講座」を実施
- ・ 自動車学校において、指導員による実技指導や身体的機能の変化を把握できる検査を実施。
- ・ 大型イベントへ出展し、運転能力診断の実施や、補償運転の広報啓発を実施

URL

https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/bohan/koutuu_index/anzenunten.html